

長かった2学期もう終わろうとしています。2学期は川島中高祭からはじまり、部活動の新人戦、教科や総合学習の公開授業、あわ文化学習、生徒会役員選挙、高校生との防災学習、福祉体験学習、球技大会などさまざまな行事がありました。さまざまな場面で、皆さんの頑張りや成長を感じることができました。2学期の自分の成長を振り返り、新たな目標をもって3学期を迎えてほしいと思います。

冬休みはクリスマスやお正月など楽しい行事もあります。家族での時間を大切に、大掃除や新年を迎える準備の手伝いなど家族の一員として自分にできることを行っていきましょう。また、生活リズムが崩れやすい時期です。冬休み中も、健康で規則正しい生活ができるように心がけ、3学期の準備をしていきましょう。

福祉体験学習

11月21日に吉野川市社会福祉協議会より3名の方に来ていただき、車いす体験とアイマスク体験を行いました。どちらもはじめは介助なしで体験を行いました。車いすでは、ゆるやかな坂でものぼるのが大変なことや、少しの段差でも乗り越えることができないことが分かりました。アイマスク体験では、普段通っている廊下や階段でもどこを通っているのか分からずとても不安になっていました。その後、介助の方法を教してもらい、実際に介助をしたり、介助してもらったりして体験をしました。介助があることで、安心できることや楽になることが分かり、生活の中で自分にできることを考えるきっかけとなりました。



【生徒の感想】

- 一人で車いすに乗ってみると思うように動かなかったり、少しの段差が通れなかったり、アイマスクをつけた何も見えない状態で一歩進むのがこわかったりして、こんなに不安になるんだと知り、驚きました。介助してくれる人がいると安心できたので、祖母などの車いすを押すときは今日習ったことを意識しながら介助してみようと思いました。

防災学習

高校生ファシリテーターとの防災学習がありました。講師として、吉野さんと宮本さんが来てお話をしてくださいました。

1回目の学習では、熊本地震の直後の被災地のようすについて、吉野さんから話を聞かせていただきました。吉野さんの話から学んだことや、障がい者の困りごとなどについて高校生とともに話し合いを行い、発表しました。衛生面や安全面への課題や、災害時にさまざまな人へどう対応していくかなどについて考えることができました。

2回目では、宮本さんから東日本大震災のときの街のようすや自らの経験について話を聞かせていただきました。当時中学1年生だった宮本さんが被災から1～5日目までのように生活していたかを知り、地震や津波の恐ろしさを感じました。また、中学生だからこそできることについても話していただき、「家族と離ればなれになった状態で自分には何ができるか」を話し合いました。



【生徒の感想】

- 2回の防災学習で、地震が及ぼす影響、避難後の生活の大変さが分かった。もし大地震が起きて避難しても生きていくために必要なものを事前に用意しておいたら、食べ物などの問題で困ることはないから意識しようと思った。自分が避難した場所にもし障がい者の人がいて困っていたら助けたいし、食料に余裕があったら分けたいなと思った。